

第2,3回検討部会で議論

※第3回部会(7/13), 第86回審議会(8/24)を踏まえた修正箇所（赤枠・字）とその補足（マーカー）

今回（第4回）検討部会で議論

基本理念・みどりの将来像  
基本理念, みどりの将来像

(仮) The Greenest City SENDAI  
～「百年の杜づくり」で杜の都を更なる高みへ～

仙台市基本計画（中間案）においては、「挑戦を続ける、新たな杜の都へ～“The Greenest City” SENDAI～」をまちづくりの理念とし、これまで培ってきた都市個性を深化、掛け合わせることで、杜の都を新たなステージに押し上げる挑戦をはじめることとしています。

その都市個性の1つとされる「環境」とは、市街地における公園や街路樹といったまちのみどりが、奥山から沿岸部までの豊かな自然と連続し、都市機能と調和した仙台の姿であり、これまで市民共有の財産として、良好なみどりの保全・創出を行う「百年の杜づくり」がえてきたものです。

今後は、「百年の杜づくり」の取組みを継承するとともに、まちづくりにそれらのみどりの多様な機能を活用することで、杜の都の更なる高みを目指します。

（資料2-2「みどりの将来イメージ図」参照）

基本理念：説明内容の修正, みどりの将来像：図による説明

取組みの姿勢：グリーンインフラの推進

仙台藩初代藩主である伊達政宗公は、防風・防雪の役割を果たし、食料・燃料となる屋敷林の植樹を奨励しました。また、第二次世界大戦からの復興では、定禅寺通や青葉通で植栽された街路樹が現在の「杜の都・仙台」の顔となっており、本市の魅力であり続けています。更に、その後の東日本大震災からの復興では、海岸林の津波減衰効果に着目し、市民協働により、海岸林の再生に取り組んでいます。

このように、本市や市民には古くから今日に至るまで、みどりの機能をまちづくりや日々の暮らしの中に取り込んできた歴史があり、「グリーンインフラ」を実践してきたと言えます。

そして、現代社会の「グリーンインフラ」には、気候変動に伴う自然災害への対策をはじめとして、都市間競争を勝ち抜くための都市の活力や魅力の創出、生活環境の質を向上をさせる等の多岐にわたる役割が求められています。

基本理念「The Greenest City SENDAI～『百年の杜づくり』で杜の都を更なる高みへ～」を実現すべく、全庁一丸となるとともに、市民や事業者などの多様な主体と連携し、グリーンインフラを推進していきます。

（資料2-3「杜の都のグリーンインフラ」参照）

説明内容の加筆修正・図による補足

基本方針  
基本方針

各方針の内容を説明

（資料2-4「基本方針の説明」参照）

各方針の対象とする  
みどりの機能等を記載

みどりと  
共生する  
まち  
（自然環境保全・  
防災減災など）

みどりで  
選ばれる  
まち  
（活力・経済など）

みどりを  
誇りとする  
まち  
（歴史文化・  
景観など）

みどりとともに  
人が育つ  
まち  
（子育て・教育・  
コミュニティ・  
健康増進など）

みどりを  
大切にする  
まち  
（維持管理・  
普及啓発など）

基本施策

施策の柱, 事業・取組みの例

施策の柱及び全体的な表現の見直し

（新旧の施策体系は、資料2-5「現行計画及び次期計画の施策体系と相関性について」参照）

1. みどりを生かした防災・減災を進める

自然災害を軽減するみどりを保全・育成するとともに、災害時にそれらのみどりを生かした避難場所や避難路の確保に努めます。

（事業・取組み例：ふるさとの杜再生プロジェクト、民有林の適正な整備の推進等）

2. みどりによる、健全な水循環を維持・増進する（前回提示資料における施策の柱13を集約）

樹林地の保全やみどりの適正な配置により、健全な水循環を保ちます。

（事業・取組み例：公共施設における透水性舗装やレインガーデン等の整備、農地の適正な保全など）

3. 都市のみどりをつなぎ、豊かな生態系を育む

多種多様な生物の生息地の保全・充実を図るため、公園、緑地、樹林地の創出・保全、みどりのネットワークの形成に努めます。

（事業・取組み例：法律や条例などによる樹林地の保全、多自然川づくりの推進など）

4. みどりを資源として循環させる

環境負荷を低減するため、みどり由来の資源循環を推進します。

（事業・取組み例： 建材としての地域産材の供給・使用、木質バイオマスの利用推進など）

5. みどりで人、企業を惹きつける

みどりによる、本市で働きたくなる、暮らしたくなるような就業環境や住環境の創出に努めます。

（事業・取組み例：街路樹マネジメントの推進、(仮)建築物等緑化ガイドラインによる緑化の誘導など）

6. みんながみどりを享受できるまちをつくる

市民も来訪者も集い、楽しみ、活動できるようなよりどころとなるみどりの空間の形成を図るとともに、その積極的な活用を推進します。

（事業・取組み例：都心部の公園を活用したイベントの推進、定禅寺通等での歩行者空間の形成など）

7. 杜の都にふさわしいみどりを充実させる

本市の景観を特徴づける市街地を囲むみどりの保全を図るとともに、みどりによる風格ある景観づくりに努めます。

（事業・取組み例：法律や条例などによる樹林地の保全、公共施設におけるグリーン化となる緑化等の実施など）

8. 歴史と文化の香る杜の都のみどりを守り、継承する

杜の都の歴史・文化と調和するみどりの保全及び充実を図るとともに、それらのみどりの活用を推進します。

（事業・取組み例：青葉山公園整備事業、居久根等の名木・古木の保全と活用など）

9. 暮らしの質を高める身近なみどりを充実させる

子育てや健康づくり等の地域や市民のニーズを捉えた公園緑地等の整備を行うとともに、公共施設や民間ビル、住宅地等において、みどりの多様な機能が発揮される緑化の充実を図ります。

（事業・取組み例：身近な公園整備・再整備事業、各種緑化助成制度の運用など）

10. みどりによる健やかな心身を育む

身近なみどりを子育てや健康づくり、コミュニティ形成等の場に活用することで、暮らしの質を高め、子どもから大人までみどりによる、健やかな心身を育みます。

（事業・取組み例：子どもの遊び環境の充実、コミュニティガーデン等の推進など）

11. みどりの持続可能な管理体制を構築する（前回提示資料における施策の柱14を集約）

公園や街路樹等の計画的かつ効率的な維持管理を進めるとともに、多様な主体の様々な手法による参画やみどりに関する人材育成を推進することで、持続可能な管理体制を構築します。

（事業・取組み例：各種施設の長寿命化等の総合的な改修等の推進、みどりのまちづくり人材育成など）

12. 悠久の百年の杜づくりを発信する

本市のみどりの魅力を発信するため、様々な媒体による広報活動やみどりのイベントにおけるPR、みどりに係る各種認定制度や表彰に取組みます。

（事業・取組み例：全国都市緑化仙台フェアの開催、「わがまち緑の名所百選」改訂など）

重点的な取組み  
重点的な取組み

各基本施策から優先度及び重要度の高い事業・取組みを選定  
詳細は議事（ ）で説明